

令和4年度スポーツ庁委託事業 障害者スポーツ推進プロジェクト

## 「地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業」

### 成果報告 概要

1

#### 目的

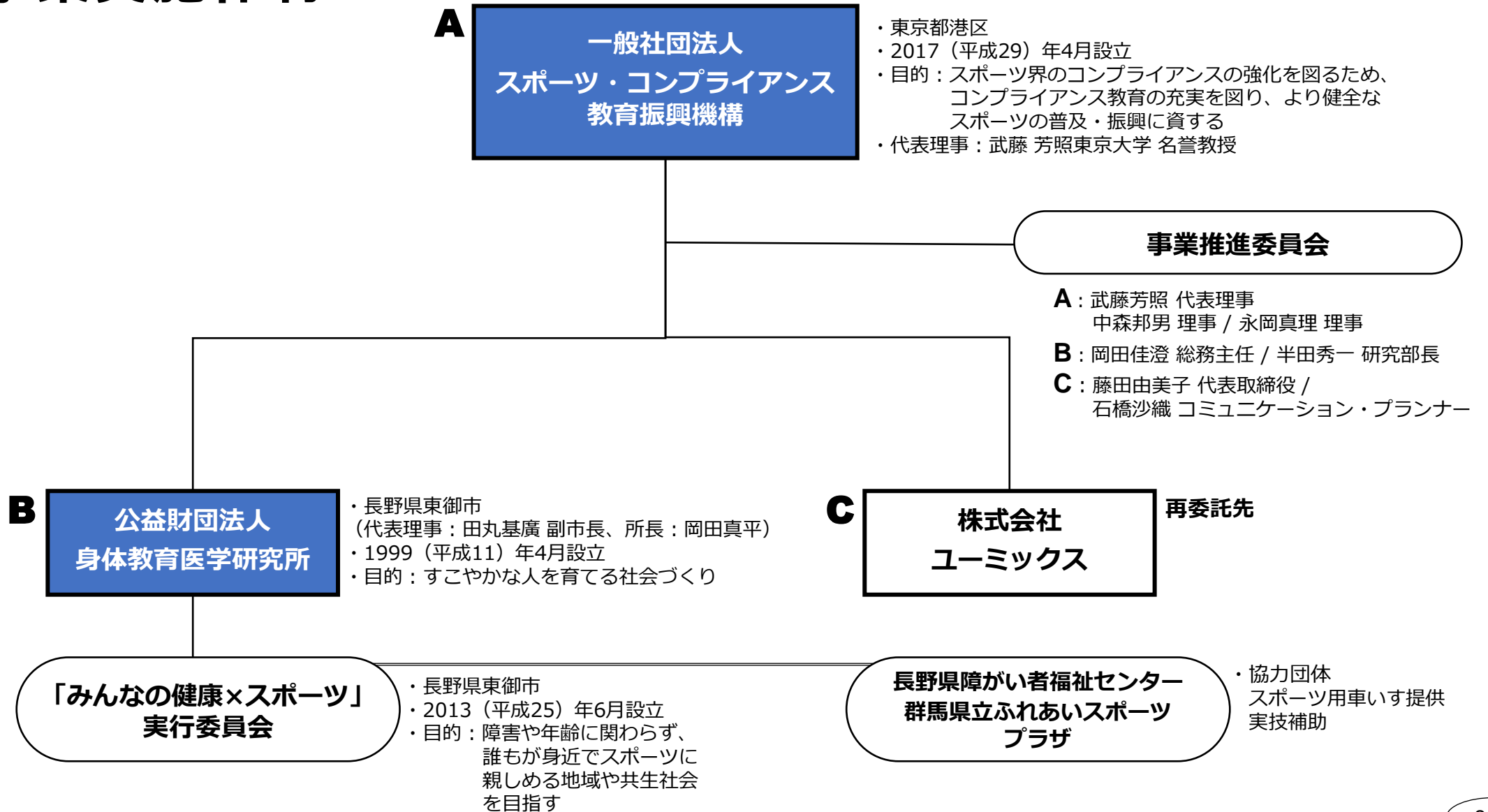
障害者が生涯にわたってスポーツを実施するための基盤を整備する観点から、身近な場所でスポーツを実施できる環境の整備等を図ること



一般社団法人  
スポーツ・コンプライアンス教育振興機構

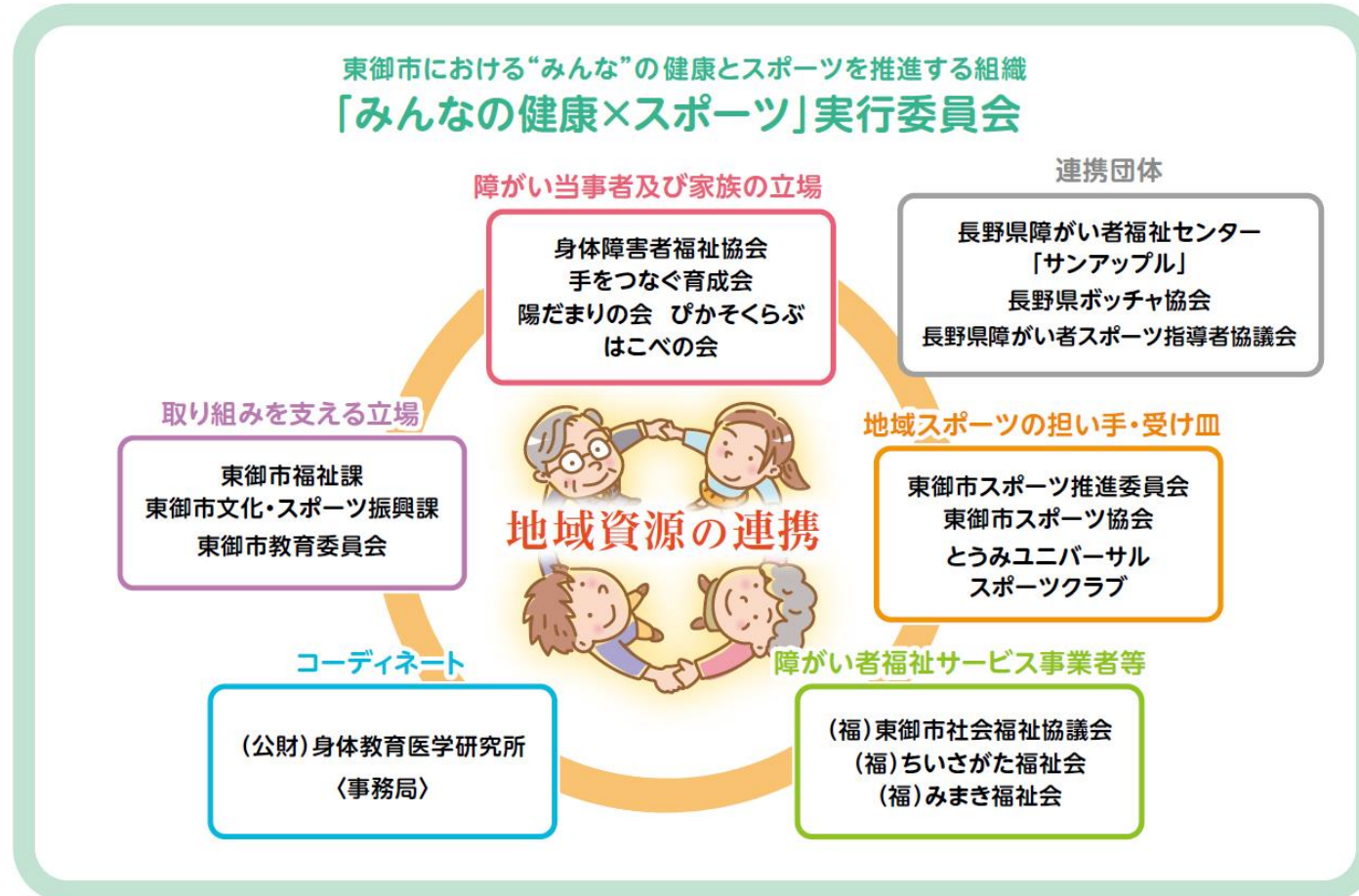


## 2 事業実施体制



# 事業実施体制の基盤

長野県東御市における地域での障害者スポーツ推進の連携・協力組織



# 3 事業内容

## (1) 地域における障害者スポーツの機会創出・普及強化

### (1) - ① 「みんなのスポーツ体験会」の開催（会場：東御市中央公民館／参加者89名）

令和4年度スポーツ庁委託事業障害者スポーツ推進プロジェクト  
(地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業)「地域住民向け障害者スポーツ教室」  
主催：一般社団法人スポーツコンプライアンス教育振興機構 共催：みんなの健康スポーツ実行委員会(後援機構)

# みんなのスポーツ体験会

**第一部 (講義室) 13:00~14:30**  
**車いすスポーツを知る!**  
それぞれの立場から「車いすスポーツ」について話していただきます!

**第二部 (講堂) 15:00~17:00**  
**トークセッション!!**

「車いすスポーツの競技と特徴」  
講師：中森 邦男 (当機構理事/一般社団法人日本パラ水泳連盟 常務理事・事務局長)

「車いすの構造と機能」  
講師：山口 高司 (株式会社オーエックスエンジニアリング 代表取締役副社長)

「電動車いすサッカーからみた社会の障壁」  
講師：永岡 真理 (当機構理事/電動車椅子サッカー日本代表選手 “Yokohama Crackers” キャプテン)

「車いすアスリートの健康管理」  
講師：青木 隆明氏 (岐阜大学大学院医学系研究科医科学専攻感覚運動医学講座リハビリテーション科 臨床教授、2020東京パラリンピック選手村常勤医)

**ポッチャの魅力・面白さ!**  
**ポッチャ体験**  
第16回パラリンピック競技大会(2020)東京パラリンピックで個人金メダリストの杉村英孝氏をお迎えしてトーク&ポッチャ体験!

**スポーツ用車いす試乗体験**  
車いすアスリートと車いすテニスのスポーツ用車いすの試乗体験ができます! 車いすに慣れてスポーツをする楽しさ、面白さを体験しましょう!

**参加費 無料**

**令和4年 8月21日**  
**東御市中央公民館 (講義室・講堂)**  
長野県東御市東288-4

対象：どなたでも 定員：75名

主催：一般社団法人スポーツコンプライアンス教育振興機構

**参加申込**  
※事前申込制です  
**7/2 28/8**  
申込期間  
開催要項・お申込みはこちらから

**お問い合わせ先**  
〒390-0001 長野県東御市東288-4  
 一般社団法人スポーツコンプライアンス教育振興機構  
 info@pcom.org

### 第1部「車いすスポーツを知る！」【講演20分×4】

- ①「車いすスポーツの競技と特徴」  
講師：中森 邦男 (当機構理事/一般社団法人日本パラ水泳連盟 常務理事・事務局長)
- ②「車いすの構造と機能」  
講師：山口 高司 (株式会社オーエックスエンジニアリング 代表取締役副社長)
- ③「電動車いすサッカーからみた社会の障壁」  
講師：永岡 真理 (当機構理事/電動車椅子サッカー日本代表選手 “Yokohama Crackers” キャプテン)
- ④「車いすアスリートの健康管理」  
講師：青木 隆明氏 (岐阜大学大学院医学系研究科医科学専攻感覚運動医学講座リハビリテーション科 臨床教授、2020東京パラリンピック選手村常勤医)

### 第2部「ポッチャの魅力・面白さ！」

- A. トークセッション【30分】**
- 杉村 英孝氏 (2020東京パラリンピック、個人金メダル・団体銅メダル “火ノ玉JAPAN” キャプテン)
  - 内藤 由美子氏 (杉村選手のパーソナルコーチ・補助者)
  - 武藤 芳照氏 (当機構代表理事/東京健康リハビリテーション総合研究所所長/東京大学名誉教授)

- B. 実技【90分】**
- ①ポッチャ体験
  - ②スポーツ用車いす試乗体験 (スポーツ用車いす16台)

## (1) - ② 障害者スポーツの普及に向けた調査・情報提供等

### A. 「障害者のスポーツ活動支援に関するアンケート調査」 (対象者39名 / 回答者28名)

[対象] 長野県東信地区内のスポーツ団体・施設等

[目的] 障害者のスポーツ活動支援に関する実態を把握する

[質問項目] ・障害者の参加するスポーツ教室・イベント等の実施状況

- ・その実施に向けての課題と解決策
- ・障害者のスポーツ参加を推進する方策 等



### B. 「スポーツの実践に関するアンケート調査」 (対象者1712名 / 回答者599名)

[対象] 東御市在住の障害者手帳を有する市民

[目的] 誰もがスポーツの持つ価値を享受できる機会を確保し、

スポーツを通じて健康づくりと社会参加を促進していくこと

[質問項目] ・運動・スポーツの実施状況 (頻度、目的、種目 等)

- ・運動・スポーツを実施していない理由
- ・障害者の運動・スポーツの実施に必要な環境
- ・実施上の課題・希望・提案 等



## (2) 現職教員に対するパラスポーツのノウハウの普及

「障害者スポーツの実施に向けた教員に対する研修の実施」 (会場：東御市立 和(かのう)小学校)

[対象] 長野県東信管内の保育園・幼稚園教諭並びに、小・中学校、高校、小諸養護学校・上田養護学校の教員

[目的] ・教員自らが、障害者スポーツの現状と課題への理解を深める。  
 ・教員が児童生徒等に、共生（インクルージョン）を教育する動機づけとする。  
 ・障害者スポーツの魅力に触れて実感することにより、児童生徒等に障害者スポーツについて指導する必要性を理解する。

[講師] 上原 大祐

- ・2010バンクーバー パラリンピック アイスホッケー競技銀メダリスト
- ・NEC 東京オリンピック・パラリンピック推進本部障害攻略エキスパート
- ・NPO 法人 D-SHiPS32 代表理事
- ・長野県軽井沢町出身

第 1 部 公開授業	
対象	東御市立 和 (かのう) 小学校 6 学年児童 (参加児童 : 53 名)
実技	「車いすバスケットボールの体験」【45 分 : スポーツ用車いす 16 台】
第 2 部 研修	
対象	長野県東信管内の教諭・教員 (参加者 : 34 名)
講義	「パラスポーツから学ぶ共生社会」【40 分】
実技	「車いすバスケットボールの体験」【45 分 : スポーツ用車いす 16 台】



## 4 結果と考察(1)

「みんなのスポーツ体験会」(2022年8月21日)



### [事後アンケート調査]

参加者89名、回答者49名 (55%)

車いす、車いすスポーツのこと、社会の障壁のことを大変よく理解できた一方、医学的領域の内容には、やや難しい点があった。障害者スポーツに関心を大いに持ち、その課題を知り、今後の普及に取り組みたいが実際に継続的に参加することには若干のハードルがある。

教員対象「障害者スポーツ研修」(2022年8月24日)



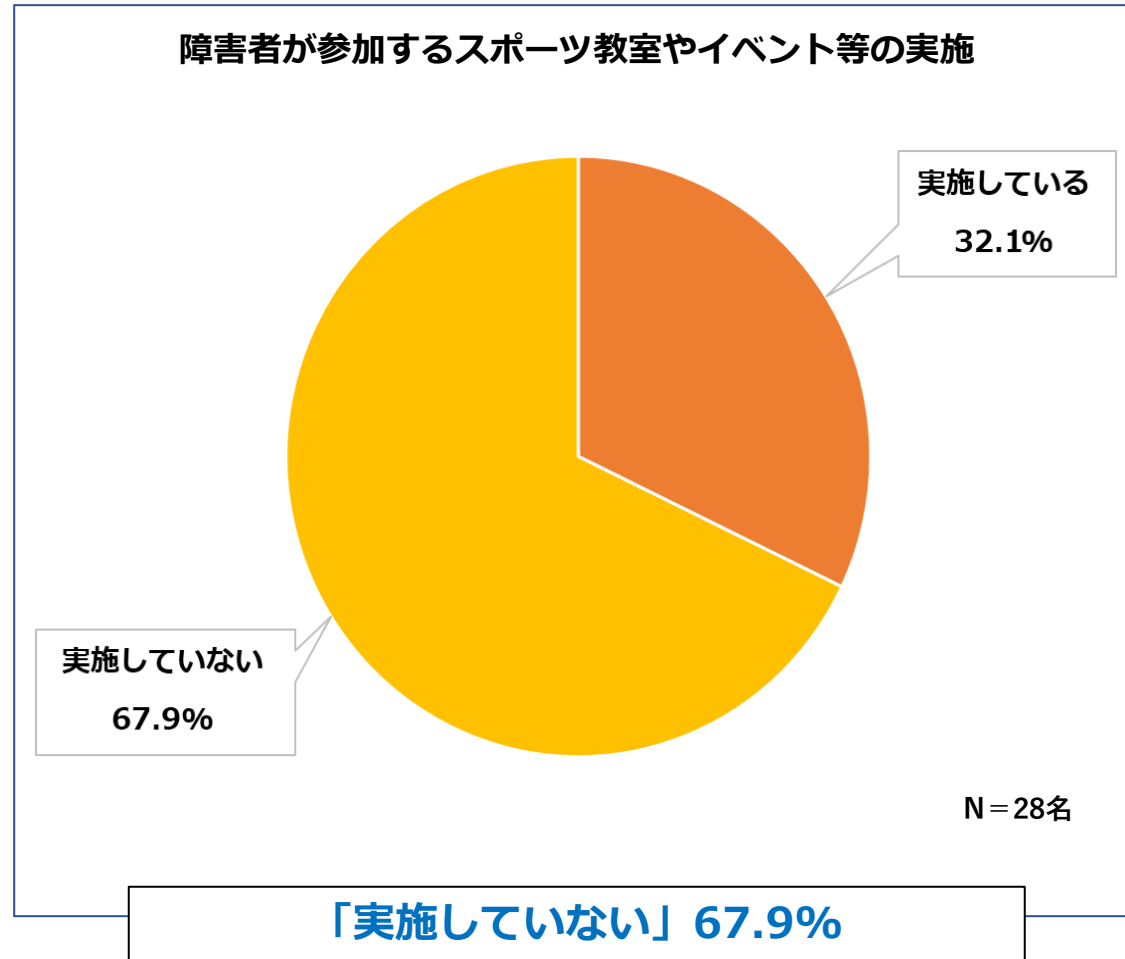
### [事後アンケート調査]

参加者34名、回答者27名 (79%)

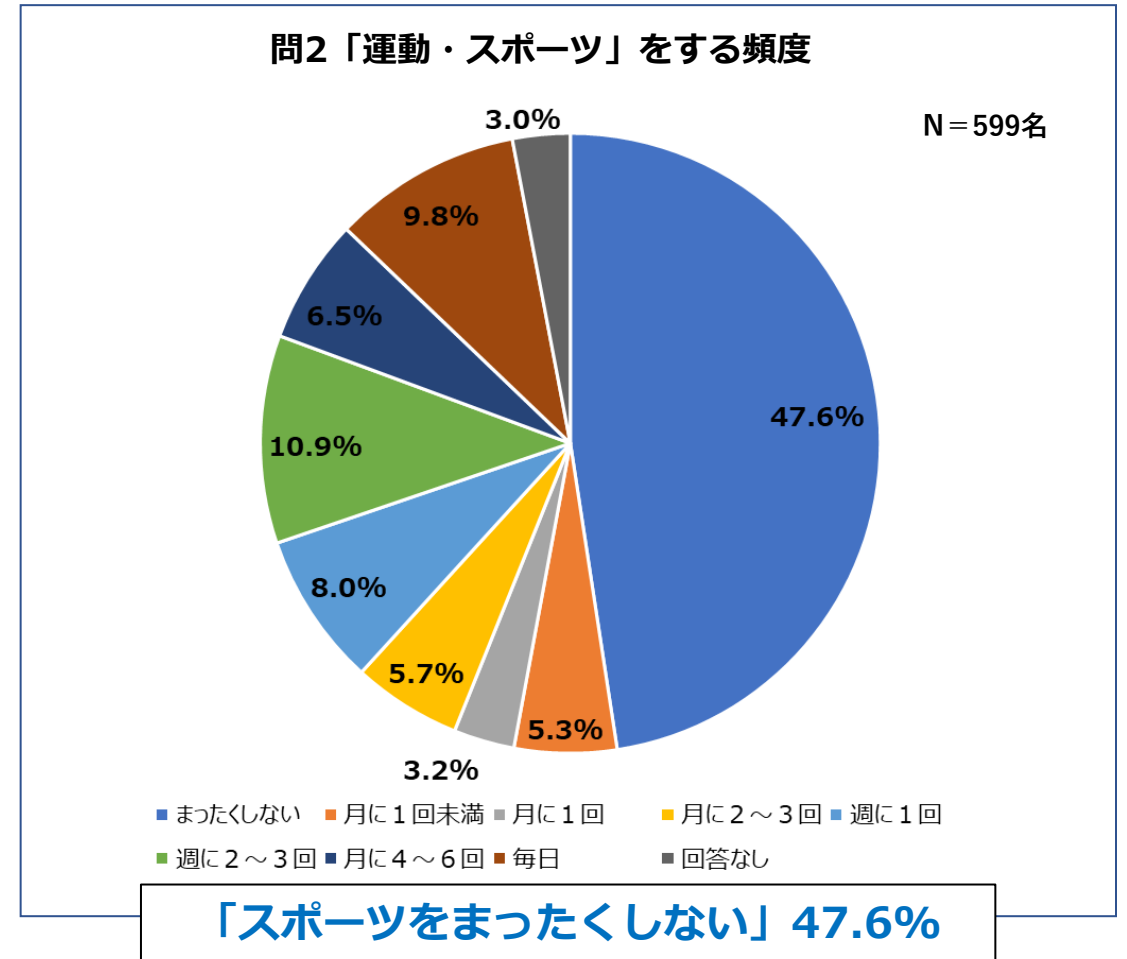
障害者スポーツの現状についてよく理解でき、児童生徒へ教育の必要性を良く理解した。一方、障害者スポーツや共生(インクルージョン)についての授業をすることには、ややためらいがある者も少なくない。また、実技に参加したことについては、99%が「ためになった」としている。

## 5 結果と考察(2)

### 「障害者のスポーツ活動支援に関するアンケート調査」



### 「スポーツの実践に関するアンケート調査」



なお、属性に沿ってクロス集計したところ、障害の種別によって、スポーツをしない理由が異なることがわかった。